

KANOYA

広報かのや お知らせ版 Vol.395



TOPIC

風を切って走りぬく 輝北の恒例行事クロスカントリー大会

5月8日、輝北うわば公園で「第34回南日本クロスカントリー大会INきほく」が行われました。新型コロナウイルスの影響により全国的にランニング大会の中止が相次ぐ中、3年ぶりの開催となった同大会。輝北うわば公園に設けられた特設コースは、高低差が最大35mあり起伏が激しく「九州一過酷」なコースと言われています。3～8kmのコースのほか、たすきをつなぐリレーマラソンの部などを県内から集まった約300人のランナーたちが懸命に歯を食いしばりながらも、3年ぶりに大会で走れる喜びを感じていました。



▲大人だけでなく子どもたちも難関コースに果敢にアタック